

令和7年度 瑞穂市立牛牧小学校 学校経営の全体構想

第4次岐阜県教育振興基本計画 R6~R10

目指す人間像

「『ふるさと岐阜』で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人」

- ・自立力:主体的に学び、考え、行動する力
- ・共生力:つながり、認め合い、支え合う力
- ・創造力:よりよい未来を築いていく力

【学校の教育目標】

進んで学び

たくましく

未来を拓く子

【具現する3つの窓】

考える子 思いやる子 きたえる子

瑞穂市小・中学校教育の方針と重点

心豊かに光り輝く「みずほ」の子ども
魅力ある「みずほ」の学校

豊かな心と
未来を切り拓く力を育む教育

- ・感動する心
- ・不屈の心
- ・思いやる心
- ・見つける力
- ・考える力
- ・創り出す力

目指す児童の姿

- ・基礎的な学力を身に付け、学ぶ楽しさを実感できる児童
- ・自分の考えを生き生きと表現し、仲間と共に高め合う児童
- ・コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係を築くことができる児童

求める教師の姿

「児童に対する情熱」をもち、
「児童に寄り添う心」を身に付けた職員集団

【進化し続ける教職員】

- 常に学び続ける教師(岐阜教育事務所指定研修校)
- 教職員間の連携の強化と組織的な指導の徹底
- 法令遵守、危機管理・リスク管理意識の向上

【学校経営の方針】

見通しのある指導で、児童一人一人に「達成感」を味わわせ、「自己有用感」と「自己肯定感」を高める

全職員の合言葉：「明日も来たくなる わくわくする学校」

R7「うたごえ」に取り組み、
R8～「4つのたから」に
まなび・あいさつ・
うたごえ・そうじ

【3つのたから】

まなび

あいさつ

そうじ

考える子(自立力)

生き生きと追究する姿の育成

- ・「理科・算数・特別支援教育」を核とした創意工夫のある指導
- ・「ワクワクの5分」「主体的に学習に取り組む態度」に重点を置いた授業づくり
- ・ペアや小集団での交流を位置付けた授業
- ・ICT機器の利活用
⇒「誰一人として取り残されない授業」

子どもの自己肯定感を高める授業づくり

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善
- ・教師主導の授業からの脱却(一律一斉授業の見直し)

学びに向かう学習習慣・学習環境づくり

- ・「話す」を中心に「聞く」「書く」指導の充実
- ・読書、家庭学習に自主的に取り組む姿

思いやる子(共生力)

誰一人として取り残さない指導体制づくり

- ・安心で安全な居場所づくりの推進(学級づくりと校内教育支援センター「スマイル教室」の充実)
- ・児童一人一人が大切にされ、多様性が認め合える集団づくり
- ・「なかよし宣言」を活用しながら、人権教育の推進といじめ問題の根絶を目指した指導体制

関わり合う心の育成

- ・子どもの主体的な活動の推進(係活動、委員会活動、クラブ活動、ひかりの活動等)
- ・校内ボランティア活動の活性化と地域の活動や行事への積極的な参加の呼びかけ
- ・SDGsの理念を取り入れた総合的な学習の時間の充実

特別支援教育(けやき学級・あすなろ教室)のさらなる充実

- ・誰もが生き生きと生活できる指導・支援の充実と、交流学級との連携強化
- ・一人一人を大切にする指導の徹底

きたえる子(創造力)

やりぬいた事実の価値付け

- ・「3つのたから」「やりぬき賞」を活用した学級・学年づくり
- ・「Superうしきっ子」を活用した児童一人一人の個性の伸長と、毎日の努力を続けようとする意識の醸成

規律ある生活習慣の定着

- ・学校での規範意識の徹底と生活ルールを意識した学校生活の充実
- ・生活リズムを整え、食育と運動を通して、心身の健康を身に付ける指導
- ・「自分の命を自分で守る」ための指導強化

子どもの自己有用感を育む活動・指導

- ・自分がやりきったことで、学級や班の仲間のためになっていると感じ取らせる活動を仕組み、タイムリーに認め、価値付ける指導のさらなる充実

【活動を支える教師の姿勢】大切にしたい3つのステップ

気付く

アンテナを張り巡らす

仕組む

活動を工夫する

認める

自己肯定感を高める

【開かれた学校】家庭・地域・学校の連携強化とネットワークづくり 幼保小中の連携を大切に魅力ある学校づくり

家庭・PTA: PTA役員会、授業参観、奉仕作業参観、個人懇談、学校だよりの発行、学校ホームページの充実

地域: 学校運営協議会の実施と組織の見直し、見守り隊(ボランティアの会)との交流、地区懇談会の開催、「感謝の会」の実施

幼保小: 幼保小連絡協議会、遊びを通して交流する場の設定、小学校の授業見学会の実施、入学前の情報交流と連携強化

小中: 学校運営協議会、授業参観と交流、穂積中ハートフラワープロジェクトへの協力、MSJとMSKによる小中合同あいさつ活動

【穂積中校区小中連携「子どもの居場所づくりの推進」】

共通の取組: 管理職、主幹教諭、教務主任、生徒指導主事の連携 方向性の確認

① 校内教育支援センター機能の充実: 個の実態に応じた居場所づくり 教育相談の充実 主幹教諭の効果的な位置付け

② 子どもの自己肯定感を高める授業: 教師主導の授業からの脱却 個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実し、主体的、対話的で深い学びを実現する授業改善

③ 子どもの人権を大切にしたい取組: 高圧的な指導、決めつけた指導、同調圧力の排除 子どもが生き生きと活躍できる指導・支援⇒よさ⇒価値付け⇒自覚⇒自信⇒自立